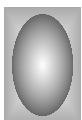


# INFORMATION

最新の情報は生理学会ホームページをご覧ください (URL: <http://www.soc.nii.ac.jp/psj/>)



## 藤原セミナー 募集要項

平成 14 年度開催

### 趣 旨

藤原科学財団は、科学技術の振興に寄与することを目的として、「藤原セミナー」の開催を希望する研究者から、下記募集要項に基づいて申請を受け、選考の結果採択を決定したのものについて、セミナー開催に必要な経費を援助いたします。藤原セミナーの選考委員は次の通りです。

杉村 隆 (委員長), 近藤次郎, 植村泰忠, 松井正直, 西村 暹 (敬称略, 順不同)

又、必要に応じて専門委員を委嘱することがあります。

### 記

#### 1. 応募資格

わが国の大学等学術研究機関に所属する常勤の研究者

#### 2. 対象分野

自然科学の全分野

#### 3. セミナーの要件

対象となるセミナーは、平成 14 年度 (平成 14 年 7 月 1 日 ~ 同 15 年 3 月 31 日) に開催するもので、次の各要件を満たしていること。

- (1) セミナーは、学問的に水準の高いものとし、そのテーマはなるべく基礎的なもので、関連分野の発展の契機となるようなものであること。
- (2) 参加者が、セミナー開催期間中起居を共にすることを原則とし、計画された講演・討論のほか、個人的な討論など自由な雰囲気学問的交流と人間的接触を深め、永続する協力の基盤を作るようなものであること。

- (3) 参加者は 50 人程度までとし、外国人研究者が相当数 (参加者の 5 分の 1 以上) 含まれるものであること。なお、国内外の優れた研究実績を有する若い専門研究者の参加を奨励する。

- (4) セミナーの開催地は、日本国内であること。

- (5) 開催期間は 2 ~ 4 日以内とする。

- (6) セミナーの開催に直接必要な経費が、1,200 万円以内のものであること。

- (7) 二国間会議、定期的に行われる国際会議、準備会は対象とならない。

#### 4. 採択予定件数

平成 14 年度に開催するもの 1 件

#### 5. 当財団が支給する経費

セミナー開催に直接必要な経費として当財団が認められたもので、その費目は次のとおりとする。

##### (1) 会議準備費

会議準備費は、セミナー開催の準備のために必要な内国旅費、印刷製本費、通信運搬費、会議費、賃金、消耗品費、雑役務費等とする。

##### (2) 国外参加者旅費

国外参加者旅費は、航空賃、滞在費及び必要な場合は交通費とし、次の基準により援助することができる。

(ア) セミナー参加を特に要請する者については、旅費全額

(イ) その他の参加者のうち必要な者については、旅費の一部

##### (3) 国内参加者旅費

国内参加者旅費は、交通費 (出発地から開催

地までの往復鉄道賃等), 日当及び宿泊料とし, 次の基準により援助することができる.

(ア) セミナー参加を特に要請する者については, 旅費全額

(イ) その他の参加者のうち必要な者については, 旅費の一部

#### (4) 本会合経費

本会合経費は, セミナー開催期間中に必要な組織責任者等旅費, 印刷製本費, 通信運搬費, 会議費, レセプション経費, 賃金, 消耗品費, 雑役務費等とする.

#### 6. 申請の方法

セミナー開催希望者は, 「藤原セミナー開催申請書」(1通)を, 所属機関長を經由して当財団に提出すること. 尚, 著名な参加予定者については, セミナーのテーマに関する主要論文(5名以内1人につき1篇, コピーで可)を添付のこと.

#### 7. 申請受付期間

平成13年7月1日~同年7月31日(必着)

#### 8. 選考及び通知

当財団の藤原セミナー委員会で審査のうえ, その結果を平成13年10月中旬に, 申請者ならびに機

関長に通知する.

#### 9. 組織責任者とその義務

申請が採択された場合は, 申請者が組織責任者となる. 組織責任者は, セミナーを企画し, 運営し, 次の事項を処理するとともに当財団との連絡に当たる.

(1) 実施計画書の提出

(2) 実施報告書及び収支決算報告書の提出(セミナー終了後2ヶ月以内)

(3) 準備から終了に至るセミナー開催に関するすべての事項

#### 備考

セミナーが北海道で開催される場合には, 下記について会議場, 宿泊など, 当財団で便宜をはかることができます.

苫小牧市.....グランドホテルニュー王子

旭川市.....旭川グランドホテル

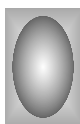
#### 申請書提出先・連絡先

〒104 0061 東京都中央区銀座3 7 12

(王子不動産銀座ビル)

財団法人 藤原科学財団

TEL (03) 3561 7736 FAX (03) 3561 7860



## 第18回(平成13年度)井上學術賞

### 受賞候補者推薦要項

#### 1. 候補者の対象

自然科学の基礎的研究で特に顕著な業績をあげた研究者.

ただし, 年齢が平成13年9月20日現在で50歳未満の研究者に限ります.

#### 2. 學術賞

本賞: 賞状及び金メダル 副賞: 200万円

授賞件数は5件以内とします.

(注) 受賞者は, 原則として1件につき1人とします. 特に複数であることを必要とするときは, それらの研究者の寄与が同等であることを示してください. 但し, この場合においても1件として取り扱います.

#### 3. 推薦依頼先

下記の30学会, 並びに当財団の理事・評議員等に推薦を依頼します.

#### 4. 推薦件数

各推薦学会または各推薦者から, 原則としてそれぞれ1件とします.

#### 5. 提出方法

所定の推薦書用紙に必要事項を記載し, 当財団あてに提出願います.

#### 6. 締切期日

平成13年9月20日(木)

#### 7. 選考

当財団の選考委員会において選考し, 理事会において決定します. 選考の結果は, 平成13年12月中旬に推薦者に通知します.

## 8. 学術賞の贈呈

平成14年2月4日(月)の予定

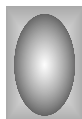
## 9. 推薦書提出先及び連絡先

財団法人 井上科学振興財団

〒150 0033 東京都渋谷区猿楽町11番20号

電話：03 3477 2738 FAX：03 3477 2747

日本数学会	日本発生物学会	日本農芸化学会
日本応用数理学会	日本分子生物学会	日本生理学会
日本物理学会	日本地震学会	日本解剖学会
日本生物物理学会	地球電磁気・地球惑星圏学会	日本神経科学学会
日本天文学会	日本気象学会	日本神経化学会
日本化学会	日本海洋学会	日本生化学会
日本動物学会	応用物理学会	日本免疫学会
日本植物学会	電子情報通信学会	日本癌学会
日本細胞生物学会	日本金属学会	日本薬学会
日本遺伝学会	高分子学会	日本薬理学会



## 第18回(平成13年度)井上研究奨励賞

### 受賞候補者推薦要項

#### 1. 推薦の対象

平成10年4月1日～13年3月31日(平成10年度～12年度)の過去3年間に、**理学・工学・医学・薬学・農学等の分野で博士の学位を取得した35歳未満**(平成13年9月20日現在、ただし医学、歯学、又は獣医学の学位取得者については37歳未満)の研究者で、**自然科学の基礎的研究**において新しい領域を開拓する可能性のある優れた博士論文を提出した研究者。

#### 2. 授賞件数及び研究奨励金

授賞予定件数は30件。

受賞者には、賞状及び、1件当り50万円の井上研究奨励金を贈呈します。

#### 3. 推薦者

原則として、**博士論文の作成を指導した研究者**とします。

#### 4. 提出手続

(1) 推薦者は、所定の推薦書用紙に必要事項を記入し、**候補者が博士の学位を取得した大学の学長**に提出願います。

(2)(1)により推薦書の提出を受けた学長は、当

財団から学長にあてた推薦依頼文書に示された推薦件数枠の範囲内で推薦書を取りまとめの上、学長名の文書を添えて、所定の提出書類とともに当財団へ一括して提出願います。

#### 5. 提出書類

- (1) 推薦書本文(4ページ、所定の様式による) 1部
- (2) 同上 写し 2部
- (3) 博士論文の概要(形式自由、A4判で1～2ページ、冒頭に、論文題目と氏名を記入してください。) 2部  
(「推薦書」(4ページ)とは別です。ご注意ください。)
- (4) 博士論文(審査終了後、返却します。) 2部

#### 6. 締切期日

平成13年9月20日(木)

#### 7. 選考

当財団の選考審査員において選考し、理事会において決定します。(選考結果は、12月中旬に推薦大学の学長に通知します。)

#### 8. 研究奨励賞贈呈式

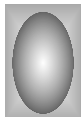
平成14年2月4日(月)午後 東京で開催の予定.

### 9. 推薦書提出先及び連絡先

財団法人 井上科学振興財団

〒150 0033 東京都渋谷区猿楽町11番20号

電話: 03 3477 2738 FAX: 03 3477 2747



## 第5回(平成13年度)久保亮五記念賞

### 受賞候補者推薦要項

#### 1. 趣 旨

久保亮五博士の物理学における偉大な業績を記念し、わが国の学術振興に資することを目的として、故久保亮五博士及び同夫人から寄せられた寄附金によって久保亮五記念賞贈呈の事業を実施します。

#### 2. 授賞対象

日本の統計物理学・物性科学における波及効果の大きい基礎的研究で優れた業績をあげた45歳未満(平成13年6月30日現在)の若手研究者

#### 3. 賞の内容

授賞は毎年1件とし、受賞者には、賞状、メダル及び賞金100万円を贈呈します。

#### 4. 推薦依頼先

関係専門分野の有職者、及び当財団の久保亮五記念賞事業運営委員会委員

#### 5. 推薦件数

各推薦者からそれぞれ1件とします。

#### 6. 推薦方法

所定の推薦書用紙に必要事項を記入の上、締切期日までに到着するよう当財団にお送りください。

#### 7. 締切期日

平成13年6月30日(土)

#### 8. 選 考

当財団の久保亮五記念賞事業運営委員会において審査、選考します。

#### 9. 決 定

本年9月上旬の予定です。選考結果は直ちに関係者に通知します。

#### 10. 賞の贈呈

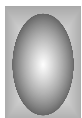
平成13年9月下旬又は10月上旬に東京都内で行う予定です。

#### 11. 推薦書提出先及び連絡先

財団法人 井上科学振興財団

〒150 0033 東京都渋谷区猿楽町11番20号

電話: 03 3477 2738 FAX: 03 3477 2747



## 第12回 生理学研究所 生理科学実験技術トレーニングコース

### “生体機能の解明に向けて” 分子・細胞レベルからシステムまで

日 時: 2001年7月30日(月)~8月3日(金)

場 所: 岡崎国立共同研究機構 生理学研究所  
プログラム

講 演: 7月30日(月)13:00~

遺伝学的アプローチによるチャネル生理機能の研究 森 泰生(生理学研究所)

運動制御機序のシステム生理学的解析

森 茂美(生理学研究所)

実 習: 7月31日(火)~8月3日(金)

(実習テーマと担当教官)

バイオセンサーを用いた細胞内カルシウムの測定 中井淳一

パッチクランプ法と電気生理学的データ解析の初歩 森島 繁

スライスパッチクランプ法

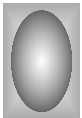
伊佐 正, 初山俊彦, 坪川 宏

霊長類眼球運動の記録解析 小林 康

免疫電子顕微鏡法 Aコース preembedding

method 重本隆一  
免疫電子顕微鏡法 Bコース postembedding  
method 重本隆一  
電気生理学及び心理物理学的手法による視知覚  
メカニズムの解析 伊藤 南  
脳機能画像解析入門 本田 学  
High Titer レトロウイルスの調整とその応用  
鹿川哲史  
Whole Tissue を用いた N 結合型糖蛋白質糖鎖  
の発現解析 鹿川哲史  
生理学実験のための電気回路・機械工作  
大庭明生  
生体標本の蛍光観察と細胞内カルシウム測定  
河西春郎  
遺伝子改変マウス解析のための行動実験  
柳川右千夫  
大脳皮質細胞からのシナプス電流記録  
根東 覚  
脳磁図によるヒト脳機能の計測と解析  
大草知裕, 軍司敦子  
ジーンターゲットング法 三宝 誠

電子顕微鏡による蛋白質分子観察 村田和義  
募集人員：約 150 名  
受 講 料：9500 円  
対 象：学部学生，大学院生（修士・博士），  
若手研究者（Postdoctoral fellow 含む）  
連 絡 先：  
〒444 8585 岡崎市明大寺町西郷中 38  
生理学研究所 統合生理研究施設  
柿木隆介（かきぎりゆうすけ）  
FAX：0564 52 7913  
TEL：0564 55 7768, 7779  
E-mail：training@nips.ac.jp  
Homepage：http://www.nips.ac.jp/training/  
2001/index.html  
申し込み方法：ホームページ参照  
申し込み締め切り：6月8日（金）  
主 催：岡崎国立共同研究機構 生理学研究所  
共 催：日本生理学会，日本神経科学学会  
後 援：文部科学省科学研究費 特定領域(A)  
「総合脳」(代表：濱 清)



## 第 34 回東北生理談話会（第一報）

会 期：  
平成 13 年 10 月 12 日（金）13 時～17 時 30 分（予定）  
10 月 13 日（土）9 時～12 時 30 分（予定）  
会 場：秋田キャッスルホテル（放光の間）  
〒010 0001 秋田市中通 1 3 5  
TEL：018 834 1141（代）  
FAX：018 831 0518

発表形式：口演

演題申込：

- 1) 参加申し込み，演題申込（邦文抄録を含む）  
の締め切りは平成 13 年 8 月 31 日（金）（必着）  
とさせていただきます。  
詳細を第二報として事務局より平成 13 年 7  
月上旬頃郵送する予定です。事務局から直接  
連絡の無い方で，参加申し込みを希望される

方は，早急にその旨，事務局に e-mail，  
FAX 等でご連絡下さい。その都度対応させ  
て頂きます。

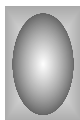
- 2) 同一教室からの演題数は 2 演題とします。た  
だし，同一研究者の演者としての発表は 1 演  
題に限ります。

第 34 回東北生理談話会

当番幹事：

秋田大学医学部生理学第一講座 稲垣暢也  
生理学第二講座 河谷正仁  
秋田大学医療技術短期大学部 吉崎克明  
事務担当：古川哲史，三浦 章  
連 絡 先：秋田大学医学部生理学第二講座

〒010 8543 秋田市本道 1 1 1



## 第12回日本微量元素学会の御案内

第12回日本微量元素学会は、医学、薬学、歯学、栄養学、農学、理学、工学、地球科学、行政などの各分野と企業から、21世紀の生命科学の時代を視野に入れて、「生命科学と微量元素研究未来21」を指向する学術集会を目指しております。

会 長：荒川泰行（日本大学医学部第3内科）

会 期：

平成13年7月13日（金）9：00～17：00

7月14日（土）8：30～17：00

会 場：

砂防会館別館（シェーンバッハ・サボー）

東京都千代田区平河町2 7 5

TEL 03 3261 8386（代）

会場への交通のご案内

地下鉄 有楽町線／麹町駅より徒歩約8分、永

田町駅より徒歩約2分

丸の内線・銀座線／赤坂見附駅より

徒歩10分

半蔵門線／永田町駅より徒歩約2分

第12回日本微量元素学会事務局

第12回微量元素学会に関する問い合わせは下記事務局までお願い致します。

〒173 8610 東京都板橋区大谷口上町30 1

日本大学医学部第3内科学教室内

第12回日本微量元素学会事務局

会長 荒川泰行 宛

プログラム要旨

〔教育講演〕

第6次改定日本人の栄養所要量における微量元素

について

国立健康・栄養研究所 江指隆年

〔会長講演〕

肝疾患と微量元素

日本大学医学部第3内科 荒川泰行

〔シンポジウム〕

シンポジウム1（指定・一部公募）

微量元素と生体調節 病態修復へのアプローチ

司会 静岡県立大学大学院生活健康科学研究科

山口正義

大阪大学医学部保健学科 高木洋治

シンポジウム2

神経系の機能と障害における微量元素の重要性

司会 帝京大学医学部小児科 児玉浩子

静岡県立大学薬学部放射薬品学教室

武田厚司

〔パネルディスカッション〕（指定）

銅：生体による制御機構と疾患

司会 千葉大学薬学部衛生化学研究室

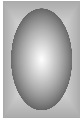
鈴木和夫

熊本大学医学部

遠藤文夫

一般演題（口演、ポスターセッション）

微量元素について、医学、薬学、歯学、栄養学、農学、理学、工学、地球科学、環境科学、行政などの各分野と企業の皆さんから、奮ってメインテーマ「生命科学と微量元素研究未来21」を包括的に模索し、将来を展望するに相応しい多数の演題を御応募いただき、活発な御発表と御討論を期待しております。



## 第12回日本微量元素学会記念公開講座の御案内

第12回日本微量元素学会の開催を記念して、微量元素の持つ光と影を視野に入れて「環境・微量元素・健康」をメインテーマとした公開講座を下記の如く開催致します。本学会員のみならず、微量元素に関心のあるいろいろな分野の研究者、学生そして一般市民の方々に多数御来聴を賜り、微量元素についての正しい知識と理解を深めていただく機会にすることができるのであれば幸いです。

日 時：平成13年7月12日（木）13時～17時  
会 場：砂防会館別館（シェンバッハ・サポー）  
東京都千代田区平河町2 7 5

参加費：500円

定 員：先着500名（定員になり次第締め切らせていただきますのでご了承下さい）

参加申込方法：官製ハガキまたはFAXで郵便番号、住所、氏名、電話番号を御記入の上、第12回学会事務局迄お申込下さい。参加証をお送りいたしますので、当日会場にご持参下さい。

### プログラム要旨

特別講演1．微量元素と環境汚染：有機スズ化合物を例として

環境庁国立環境研究所化学環境部 堀口敏宏

特別講演2．生体内微量元素攪乱と健康影響

静岡県立大学食品栄養科学部公衆衛生学

荒川泰昭

特別講演3．生活習慣病予防からみた食品と微量栄養素の役割

女子栄養大学 辻村 卓

特別講演4．医薬品としての微量元素の有効性と問題点

京都薬科大学代謝分析学 桜井 弘

特別講演5．生活習慣病治療薬と味覚障害

日本大学名誉教授 富田 寛

第12回日本微量元素学会事務局（参加申込先）

〒173 8610 東京都板橋区大谷口上町30 1

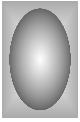
日本大学医学部第3内科学教室内

第12回日本微量元素学会事務局

会長 荒川泰行 宛

TEL 03 3972 8111（内線2424）

FAX 03 3956 8496



## 北海道臨床体温研究会 第16回学術集会

日 時：2001年8月25日（土）

会 場：ホテルニューオータニ札幌

発表内容：体温に関する基礎および臨床的研究

特別講演 / 基礎・臨床各一題

一般演題

演題締切：2001年5月18日（金）

抄 録：演題名，演者名，施設名，連絡先住所，  
電話番号，ファックス番号，(E-mail  
アドレス)，本文400字，A4用紙に印  
刷してお送り下さい。

お問い合わせ先：

北海道臨床体温研究会

演題申込

〒060-0061 札幌市中央区南1条西16丁目

札幌医科大学医学部麻酔学教室内

北海道臨床体温研究会事務局

世話人会長：並木昭義

事務局担当：表 圭一

TEL 011 611 2111（内線3568）

FAX 011 631 9683

投 稿 先：

〒060 0061 札幌市中央区南1条西16丁目

札幌医科大学医学部麻酔学教室内

「臨床体温」編集事務局

編集責任者：並木昭義

TEL 011 611 2111（内線3568）

FAX 011 631 9683

（原著，症例等の原稿は随時行っております  
ので，奮ってご投稿下さい。）